

脱退強要＝不当労働行為は明らか



組合脱退強要事件……地労委斗争 (10/4)

十月四日、千葉地労委で、木戸君に対する組合脱退強要事件の第一回審問が開催され、中野委員長が証言にたった。

中野委員長は、二時間に及ぶ証言のなかで、動労千葉の結成以来、一貫としてつづく動労千葉敵視・弱体化攻撃の実体をつぶさに明らかにした。

結成当初、動労「本部」革マル分子の各職場へのたび重なる襲撃をすべて容認し、その一方で、動労千葉に対しては、半年にわたって労働協約の締結すら拒否し、布施書記長の不当解雇をはじめ、全く転倒した不当処分を加えるというやり方には

じまり、中野委員長の不当解雇、八一・三ジェット闘争への四名の不当解雇、そして、記憶にも新しい、分割・民営化攻撃をめぐる、ありとあらゆる手段を使った組織破壊攻撃など、暴き出された

国鉄―JRを貫く不当労働行為の実体は、河野をはじめ、JR当局を完全に追いつめた。

動労千葉のみ十二名の清算事業団送り、一〇〇名を超す強制配転、木戸君や五七予科生をはじめとした露骨な脱退強要攻撃、期末手当カット、そして団交拒否など、JRはまさに不当労働行為の

新たな合理化を許すな！労働条件改善を！ JR千葉支社、京葉線暫定開業等に関する十一月ダイヤ改を提案！

京葉線暫定開業等に関する十一月ダイヤ改を提案！

10月6日、JR千葉支社は、京葉線暫定開業等に関する「63年12月新商品計画」なるものを動労千葉に提案した。動労千葉は、京葉線暫定開業等に関する「63・12ダイ改」を「新商品計画」なるふざけた名称で提案したことを弾劾し、団交に臨んだ。京葉線暫定開業に関わる12月ダイ改は、車両係による構内運転業務の兼掌化などを始め、様々な合理化問題を含む内容である。各支部は、12月ダイ改の問題点とこの間の労働条件改善問題を早急に調査し、JR千葉支社にぶつけ、労働条件改善をかちとろう！提案内容は以下の通り。

1. 実施期日 12月1日
 2. 列車キロ

京葉線	平日	5404、5キロ増	休日	5339、1キロ増
武蔵野線	平日	85、8キロ増	休日	114、4キロ増
総武緩行	平日	662、1キロ増	土曜	284、0キロ増
				290、8キロ

 (津田沼持分)
 3. 車両

京葉	103系	30両増	武蔵野	103系	18両増
総武	103系	60両増、101系	70両減		
習志野電車	10両減	(103系30両増、101系40両減)			
 4. ダイヤ設定

京葉	平、休ダイヤ
総武	平、土、休ダイヤ
 5. スピードアップ

101系を103系に置き換え、基準運転時分の見直し、表定時分10秒きざみ採時、			
千葉―三鷹間	C速	上り3分40秒	下り3分30秒
	B速	上り2分50秒	下り3分00秒
 6. 要員

京葉線関係	営業	83名 (在来線18名、新線65名)
京葉運輸区	52名	管理4、事務1、動乗20名、(乗務22、外勤1、交番3減)
	車両係	5 (転削3、弱電2)
	車掌	22 (乗務19名、審査2、指導1)
津田沼運転区	1名	(乗務3、指導1減、技術1減)
習志野電車区	6名減	(転削3減、誘導3減)
 7. 兼掌化 京葉運輸区 ①車両職の限定免許による構内運転 ②構内運転士の検修業務
 8. 直営売店 8店舗・予算との関係で順次開業する 要員 30名弱
- <外注作業の一部直営化>
- ①対象区 幕張電車区 ②実施時期 12月1日 ③対象作業 車両修繕の車体こう上(ジャッキアップ)等を必要とする臨時検査作業(大修の下回り)
 - ④要員 5~6名 館山から1名幕張区へ転勤 勝浦から4名幕張区へ転勤
- <地域間異動> ①人員100名 ②時期11月1日(目途) 3、配属 駅(出改札)及び車掌区(運転車掌、車内改札)

巢窟である。われわれは、この実体を、木戸地労委闘争のなかで徹底的に暴き出し、裁かなければならない。

この間も、昇進試験をめぐる露骨な組合差別、京葉線への全くでたらめな差別的配転と業務執行者の若手に発令なしでやらせる等)など、組合潰しの攻撃はますますエスカレートしているといえる。

われわれは、このような状況を断じて許すことはできない。第十五回大会決定方針にもとづき、長期波状ストライキを縦横無尽に駆使し、はね返そう。われわれは、地労委闘争と、実力ストライキを結合して、当局―鉄道労連革マル一体となつた強権的労務支配を粉砕する決意である。とりわけ革マルと手を結ぶ、組合潰しの張本人河野を断じて許すことはできない。

次回、第二回審問は、再び中野委員長が証言にたつ予定である。十一月一日、脱退強要地労委闘争、第二回審問に結集しよう。